

可看河南拓影目録

森田 憲司

はじめに

この目録は、図録類や WEB 上の画像などによって現在国内で拓影を見ることのできる、河南省所在の元朝石刻についての目録である。この目録について述べるには、近時入荷した『翰墨石影』（広陵書社 2003）という石刻書について紹介することからはじめねばならない。線装 8 冊のこの書籍は、河南省文史研究館所蔵の拓本の拓影集である。同書の後記によれば、河南省文史研究館は、民国時代の河南省通志館と、平原省文物管理委員会が所蔵していた 1 万件をこえる拓本を引き継いでいたが、その後失われたものもあり、現在では約 7 千件を所蔵しているという。その中から 650 件を選んで影印したのが本書であり、対象とされている石刻は、漢代から民国におよぶ。図版のほかに、全ての拓影に録文が作成され、法量、字体、撰者、『河南石刻摺片存目』にもとづく石刻の所在地などのデータが付されている。所蔵拓本の再整理の作業は 1991 年にはじめられたというが、これだけの量の石刻に録文およびデータを付すための労力は大変なものであったと考えられる。『翰墨石影』の刊行については、『光明日報』でも、「拓片典籍《翰墨石影》面世」（2004 年 4 月 30 日）、「拓片典籍《翰墨石影》堪為大型文史工程」（2004 年 7 月 14 日）の 2 回紹介されている。

筆者は、本誌の新着石刻書所収元朝石刻の欄に『翰墨石影』を紹介するために所収の元朝石刻を見ていて、これまで拓影の所在を知らなかった石刻が多いことに気づき、他の文献所収の拓影とつきあわせてみようと思ったのが、この目録作成の発端だった。石刻の拓影については、『北京図書館蔵中国歴代石刻拓本匯編』や各種の新出石刻の図録が出版され、さらに京都大学人文科学研究所所蔵の拓本が、WEB 上で公開されて、多数の拓影を目にすることができるようになった。これらには必ずしも河南のものが多く含まれているわけではないが、人文研には少林寺の拓本に他の文献にみえないものが多数あるなど、それぞれに個性があり、意外なくらい重複は少ない。そこで、この機会に図録類を中心に河南の石刻拓影を集成することを試みたのが、この目録である。なお、「見ることができる」という点では、むしろ各機関所蔵の拓本についても注記すべきであり、東洋文庫、東北大学、東京都立図書館、淑徳大学など、所蔵の拓本を著録する目録は少なくないのであるが、碑名その他を実物によって確認したわけではないので、今回は見合わせることにした。また、石刻資料については、石そのものの現状把握が必要であると筆者はかねがね考えているが、近時、河南地域についての石刻調査の報告がいくつか公刊され、今回の目録に所収の石刻についても、その現況を知ることができるものが出てきている。本誌第 2 号（2004. 12）に掲載の船田善之「2003 年河南・山西訪碑行報告」、井黒忍・船田善之・飯山知保「・陽・沁県・交城現存確認金元碑目録」の 2 篇や、同「山西・河南訪碑行報告」（『大谷大学史学論究』11 2005）などであるが、ちなみに、これらの方々は、本科研、もしくはその母体と言うべき「石刻資料の会」のメンバーである。

凡 例

対象 この目録で採録の対象としたものは、1234年の金朝滅亡以降、1368年のいわゆる元の北帰までの日付が確認できる石刻、および内容的に元朝時代のものと考えられる石刻である。1234年以前のものでも、モンゴルの華北への進攻がはじまって以降の石刻には、元朝史料としての価値を有するものが存在するが、ここでは採録の対象としていない。

内容 掲載したのは、石刻名、年代、所在（典拠所載のデータによる）、典拠である。

碑名 名前の後の（ ）は、碑名の根拠である。題、額の順で優先し、石刻そのものにタイトルがない場合は、原則として掲載書の表記に従い、典拠の注記はしていない。一部、筆者による命名もある。このように拓影からの読み取りを原則としたので、掲載書の表記と一致していない場合もある。また、文字が読み取れない箇所は□とし、内容などから復元できた文字は□でかこんだ。墓碑、墓誌の類については、被葬者の名を〔 〕で挿入しておいた。

年代と配列 日付は拓影で筆者が確認したものを掲載しており（立石を優先し、無い場合は死亡日などによった）、必ずしも典拠の記述とは一致しない。また、日付が確認できなかったものについて、原文の表記をそのまま残した場合もある。なお、拓影で筆者が日付を確認できなかった場合でも、典拠に日付が載せられている場合は、それにしたがった。配列は、石刻にある日付によるが、月日のあるもの、月のみのもの、年のみのもの、の順とした。

所在地 石刻の所在地については、出土地、現在地などさまざまあると思われるが、典拠の記述に従った（『翰墨石影』所収のものについては、同書の録文に付された「存目」の記事によった）。

採録文献

この目録の採録対象とした文献等は次のとおり。〔 〕内は、以下で用いている略号である。

翰墨石影 河南省文史研究館蔵搨片精選 翰墨石影編纂委員会、広陵書社、2003 [翰墨]

北京図書館蔵中国歴代石刻拓本匯編 北京図書館金石組編、中州古籍出版社、1990 [北拓]

洛陽出土歴代墓誌輯繩 洛陽市文物工作隊編、中國社會科學出版社、1991 [輯繩]

洛陽名碑集釋 黄明蘭・朱亮編、朝陽出版社 2003 [名碑]

新中国出土墓誌 河南・壹 中國文物研究所・河南省文物研究所編、文物出版社、1994 [新出]

※河南・弍には、元代の墓誌はない

京都大学人文科学研究所所蔵石刻拓本資料DB [人文]

目 録

湯陰県伏道村扁鵲墓祠堂記（題）

戊申（定宗3年）6月15日 湯陰県 翰墨6・25

真子墓碑銘（題）

戊申（定宗3年）9月 濟源県紫微宮 翰墨6・26

繹仙伝存真訾仙翁実録之碑（篆額）

辛亥（憲宗元年）真元日 禹県 翰墨6・27

第一代勅公大禪師塔銘（題）

戊午（憲宗8年）8月15日 林県 翰墨6・28

清虚子劉尊師墓誌銘（題）

中統2年8月1日 涉県 翰墨6・29

太清宮聖旨碑

中統2年4月27日 鹿邑県 翰墨6・30

創建開平府祭告濟瀆記（題）

中統6年7月 濟源県 北拓48・19

覺聚題記石扉

至元4年3月 登封県少林寺 人文

少林乳峰仁公禪師塔誌銘（題）

至元5年4月13日 登封県少林寺 人文

大元勅賜河南行省參知政事張公神道碑（篆額）[張思忠]

至元6年9月？ 鞏県 名碑69

※日付の部分が切れている

代祀濟瀆投龍簡記（題）

至元12年3月 濟源県 翰墨6・31、北拓48・64

重建中興寺記（題）

至元12年10月 鎮平県 翰墨6・32

洛京緱山改建先天宮記

至元15年2月22日 偃師県 名碑70

孟州重修濟瀆行宮之碑（題）

至元16年4月7日 孟県 翰墨6・33

河南路轉運司知事張氏合祔墓誌（筆者仮題）

至元16年7月葬 洛陽 輯繩757

大聖山孝思禪院広公和尚碑銘（題）

至元18年8月1日 林県 翰墨6・34

皇子北安王降香記（題）

至元23年2月26日 濟源県濟瀆 北拓48・100

玉清觀碑（題）

至元23年7月 汲県 翰墨6・35

重修天地水三官廟記（題）

至元24年3月 孟県 翰墨6・36

湫水廟祈雨感応記（題）

至元 24 年 8 月 禹 県 翰墨 6・37
 濟瀆靈異記 (題)
 至元 24 年 9 月 9 日 濟源 県 翰墨 6・38
 重修宣聖廟記 (額)
 至元 25 年 8 月 6 日 涉 県 翰墨 6・39
 矩公塔主之銘 (額)
 至元 26 年 3 月 登封 県 少林寺 人文
 大元錦鈞州存真宮長清子趙公大師行実碑 (題)
 至元 26 年 10 月 禹 県 翰墨 6・40
 少林住持泰公禪師之碑 (題)
 至元 28 年 4 月 1 日 登封 県 少林寺 翰墨 6・41
 加封北海広沢靈祐王記 (題)
 至元 29 年 6 月 15 日 北拓 48・121
 新修玉真觀記 (題)
 至元 29 年 8 月 15 日 武陟 県 翰墨 6・42
 贈龍川大士詩刻 (北拓の命名による)
 至元 30 年 9 月 洛陽 北拓 48・131
 大元雲南行省宣使張君之墓 (題) [張貞]
 元貞元年 8 月 18 日 葬 洛陽 輯繩 758
 淇州文廟之碑 (題)
 元貞 2 年 8 月 淇 県 翰墨 6・44
 鈞州新廟学記 (題)
 大德元年 10 月 禹 県 翰墨 6・45
 許州重修孔子廟記 (題)
 大德 2 年 2 月 許昌 翰墨 6・46
 淇谷寺国書聖旨碑
 狗年 (大德 2) 3 月 3 日 林 県 翰墨 6・43
 ※上截: 鶏年聖旨、中截: パスパ文聖旨、下截: 狗年聖旨
 成宗の戊年は大德 2 年のみ、翰墨は元貞元年とするも根拠不明
 韓魏王新廟碑 (題)
 大德 2 年 11 月 26 日 安陽 県 翰墨 6・47、人文
 太原白居敬行簡普恵大師道公庵主塔銘 (題)
 大德 3 年 4 月 清明 登封 県 少林寺 翰墨 6・48、人文
 上清正一宮聖旨碑
 大德 3 年 5 月 〇日 安陽 県 人文
 ※猴児年 6 月 14 日 聖旨、猴児年 7 月 28 日 聖旨、鶏児年 2 月 1 日 聖旨、大德
 3 年 5 月 〇日 聖旨
 郁氏少林寺鼓樓石柱記
 大德 4 年 7 月 登封 県 少林寺 人文
 安陽重修漢尚書樂公廟記 (題)
 大德 5 年 11 月 19 日 安陽 県 翰墨 6・49

石氏少林寺鼓樓石柱記

大徳6年6月 登封県少林寺 人文

有元故鎮国上將軍吳江長橋行都元帥沿海上万戸寧公墓誌銘并序 [寧玉]

大徳6年12月13日 孟県 新出1・219

寧玉神道碑額

大徳6年12月 孟県 翰墨6・53 ※上項による

宣授扶宗弘教大師釈源宗主江淮諸路都総攝鴻臚卿贈司空護法大師龍川和尚舍利塔志 (題)

大徳7年10月10日 洛陽白馬寺 輯繩759

僧智利建觀音図讚

大徳8年4月 登封県少林寺 人文

漁荘記 (題)

大徳10年閏正月 安陽県 北拓48・181

□□岳大□觀□□劉真人伝 (題)

大徳10年7月2日 登封嵩嶽廟 北拓48・186

仁宗皇帝讚達磨大師渡江図

大徳11年2月22日 登封県少林寺 人文

故釈源開山宗主贈司空護法大師龍川大和尚遺囑記 (題)

大徳11年4月 洛陽 北拓48・189

宣授少林住持達公禪師塔銘

大徳11年4月 登封県少林寺 人文

加号詔碑 (篆額)

大徳11年7月 新郷県 翰墨6・50

加号宣聖大成之碑 (篆額)

大徳11年9月 涉県 翰墨6・51

襄城県学廡記 (題)

至大元年2月16日 襄城県 翰墨6・52

宣授少林提舉興福普照藏雲大師山公庵主塔銘并序 (題)

至大元年7月16日亡 登封県少林寺 人文

重興新安洞真觀碑 (題)

至大2年7月 新安県 名碑71

紫微宮聖旨碑

至大2年3月6日 濟源県紫微宮 翰墨6・54

創修天王院記 (題)

至大4月5月2日 輝県 翰墨6・55

修武県郷学記 (題)

至大4年7月 修武県 翰墨6・56

宗派図

至大4年10月 登封県少林寺 人文

感応碑記 (題)

皇慶元年4月12日 輝県 翰墨6・57

有元故少中大夫懷孟路總管兼管軍奧魯管內勸農事孫公神道碑銘并序（題）〔孫顯〕
皇慶元年4月8日 翰墨 6・58
彰德路湯陰縣鹿樓村創修隆興觀碑銘（題）
皇慶2年3月18日 翰墨 6・59
中嶽投龍簡詩（篆額）
皇慶2年5月21日 登封縣中嶽廟 翰墨 6・60
重修香泉寺記
延祐元年10月 汲縣 翰墨 6・61
大元贈大司空開府儀同三司追封晉國公少林開山光宗正法大禪師裕公之碑（題）
延祐元年11月□日 登封縣少林寺 翰墨 6・62、人文（碑陰宗派圖刊）、名碑 73
投龍簡記（題）
延祐元年8月1日 濟源縣濟瀆 北拓 49・36
大元投奠龍簡之記（額）
延祐2年10月 濟源縣濟瀆 翰墨 6・63、北拓 49・48、名碑 72（碑陰題名刊）
勅賜伊川書院碑（題）
延祐3年4月28日 平等縣 翰墨 6・64
創修禮殿之記（篆額）
延祐3年8月15日 扶溝縣 翰墨 6・65
新安令楊君妻張氏夫人墓誌銘（題）
延祐3年8月26日 禹縣 新出 1・431
張大使墓誌
延祐4年11月3日 洛陽 輯繩 760
永泰寺祖代供養塔銘
延祐4年5月 登封縣 人文（台座拓本刊）
□□賜朝列大夫同知大名路總管府事□□□追封□□伯李公之碑銘并序（題）〔李彬〕
延祐5年4月 許昌 北拓 49・62
大都三禪會河南府路總管府並登封縣勸請少林寺焚修祝延皇帝萬歲疏碑
延祐5年6月 登封縣少林寺 人文
少林禪寺第十代妙巖弘法大師古巖就公和尚道行碑銘并序（題）
延祐5年6月 登封縣少林寺 翰墨 6・67、人文
宣授大名僧錄正宗弘法大師慶公之塔
延祐5年7月10日 登封縣少林寺 人文
滑州增廣學田記（題）
延祐6年6月1日 翰墨 6・68
嵩山少林寺和公山主塔銘（題）
延祐5年9月□日 登封縣少林寺 人文
長明燈資記
延祐7年2月1日 延津縣 翰墨 6・66
周天大醮投龍簡記（題）
泰定元年5月 濟源縣濟瀆 翰墨 6・69
大元懷慶路修武縣王褚村辛店士林富仁屯馬家澗等重脩二仙廟記（題）

泰定元年 11 月 修武縣 翰墨 6·70
大元故宣武將軍新添葛蜚軍民安撫使司達魯花赤珊竹公神道碑銘并序 (題)
泰定 3 年 2 月 新安縣千唐誌齋 翰墨 6·71、北拓 49·110、名碑 74
大元故鞏縣尹贈嘉議大夫禮部尚書輕車都尉追封清河郡公張公神道碑銘 (題)
[張恩]
致和元年□月 鞏縣 翰墨 6·72、名碑 75
有元故潛齋許仲和墓誌 (蓋) [許衍]
致和元年 9 月 23 日 焦作縣 新出 1·152
追封耶律文正公聖旨碑
至順 3 年 7 月 輝縣 翰墨 6·73
洛京白馬寺祖庭記 (題)
至順 4 年 9 月 15 日 洛陽 北拓 49·150、名碑 76
濟瀆靈池之記 (題)
天曆 3 年 5 月 濟源縣濟瀆 翰墨 7·01
大元重修聚僊觀記 (題)
元統 2 年 3 月 庚寅日 沁陽縣 翰墨 7·02
孝烈將軍祠像辨正記 (題)
元統 2 年 6 月 商邱縣 北拓 49·155
王輔嗣墓碑陰記
元統 2 年 11 月 18 日 偃師縣 北拓 49·158
大元贈知陝州飛騎尉追封洛陽縣男楊君世慶碑銘并序 (題)
元統 3 年 3 月 澠池縣 翰墨 7·03
大元南陽府裕州重建真武觀碑 (題)
後至元 2 年 7 月 21 日 方城縣 翰墨 7·04
請亮公住持法王寺疏
後至元 2 年 9 月 25 日 登封縣 北拓 49·173
雲門禪寺疏
後至元 2 年 澠池縣 翰墨 7·05
※前至元か後至元か不明
大元故中大夫僉海北廣東道肅政廉訪司事韓公墓誌銘 (題) [韓允直]
後至元 3 年 5 月 20 日 葬 洛陽 輯繩 756、北拓 49·176
內鄉縣創建延壽寺記 (題)
後至元 4 年 5 月 庚戌日 內鄉縣 翰墨 7·06
大元故承議郎新濟州脱[脱]禾孫副使許公墓誌銘 [許師義]
後至元 4 年 5 月 3 日 焦作縣 新出 1·153
大元贈中奉大夫湖廣行省參知政事護軍追封魯郡公許公魯郡夫人高氏之墓
後至元 4 年 8 月 安陽縣 翰墨 7·07
大元贈嘉議大夫僉事樞密院事上輕車都尉追封魯郡公許公魯郡夫人宋氏之墓
後至元 4 年 8 月 安陽縣 北拓 49·193
有元贈口奉大夫湖廣等處行中書省參知政事護軍追封魯郡公許公神道碑銘有序 (題)
[許熙載]

後至元4年8月 安陽県 北拓 49・194
 元故大理軍民総管府知事許公墓
 後至元4年8月 安陽県 翰墨 7・08
 白雲禪寺執照
 後至元4年8月 汝州 翰墨 7・09
 顯教円通大禪師照公和尚塔銘并序 (題)
 後至元5年正月 翰墨 7・10、人文、名碑 77 付
 太一元君紫虚元君広恵之碑 (題)
 後至元5年2月10日 沁陽県 翰墨 7・11
 乳峰和尚之塔
 後至元5年 登封県少林寺 人文
 特賜円明普照智辯大師勲公碑 (題)
 後至元6年4月 舞陽県 翰墨 7・12
 河南府路登封県嵩山祖庭大少林禪寺第十五代住持息庵禪師行実之碑 (題)
 至正元年3月 登封県少林寺 翰墨 7・13、人文、名碑 77 (碑陰刊)
 大元故孝父韓君墓誌銘 [韓立]
 至正元年11月30日 衛輝 新出 1・67
 大元鄧州重修宣聖廟碑銘 (題)
 至正2年7月 翰墨 7・14
 宣授大聖寿万安寺住持仏光慧日普照大師釈教都壇主嵩雲之塔
 至正3年4月11日 登封県少林寺 翰墨 7・15
 □□□□□建大成至聖文宣王廟学記 (題)
 至正3年9月1日 羅山県 翰墨 7・16
 重修神清觀碑記 (題)
 至正5年3月 沁陽県 翰墨 7・17
 黒麓山孚祐公祈雨感応碑 (額)
 至正6年正月19日 輝県 翰墨 7・18
 覺寧覺□題記石扉
 至正6年5月 登封県少林寺 人文
 嵩山祖庭少林禪寺耆宿安公提点行実之記 (題)
 至正7年5月 登封県少林寺 翰墨 7・19
 大元重建河南嵩山少林禪寺蕭梁達磨大師碑叙
 至正7年 登封県少林寺 北拓 50・37
 明心普照大師雋公塔銘 (題)
 ※額は「俊公壇主之塔」
 至正8年9月1日 湯陰県 翰墨 7・20
 大元汴梁路鈞州十方長春觀重建玄元殿碑銘并序 (題)
 至正9年3月13日 禹県 翰墨 7・21
 嵩山祖庭大少林禪寺第十一代住持鳳林珪公禪師行状之碑 (題)
 至正9年4月 登封県少林寺 翰墨 7・22、人文 (碑陰宗派図刊)
 濟瀆潮賜之記 (題)

至正 9 年 4 月 15 日 濟源縣濟瀆 翰墨 7・23、北拓 50・60
元故懷慶路總管王公墓誌銘（題）〔王述〕
至正 9 年 6 月 1 日葬 洛陽 輯繩 761
百巖崇明寺碑（題）
至正 10 年 5 月 21 日 修武縣 翰墨 7・24
金隄西翔建靈濟昭祐頭聖王廟記（題）
至正 10 年 8 月 16 日 孟縣 翰墨 7・25
緊那羅像碑
至正 11 年 登封縣少林寺 人文
胙城縣翔建宣聖廟碑銘（題）
至正 13 年 8 月 延津縣 翰墨 7・26
利王侯神廟碑（題）
至正 13 年 7 月 涉縣 翰墨 7・27
少林淳拙禪師之塔
至正 14 年 2 月 登封縣少林寺 人文
重修元君廟碑記（額）
至正 14 年 3 月 3 日 沁陽縣 翰墨 7・28
※翰墨に掲載の図版は碑陰の題名だが、録文は碑陽の記文
有元故承務郎濟寧路單父縣尹兼管本縣諸軍與魯勸農事知河防李侯墓誌銘（題）
〔李熙〕
至正 16 年正月 16 日 內黃縣 新出 1・42
大元故榮祿大夫河南江北等處行行中書省平章政事追封德口協議宣力功臣事諡康定
關關公神道碑銘有序（題）
至正 27 年 11 月 溫縣 翰墨 7・29

年記不明
成吉思皇帝聘丘長春真人手詔並勅碑
登封縣嵩山 翰墨 7・30
雷震墓碑
登封縣 翰墨 7・31

（もりた けんじ 奈良大学）